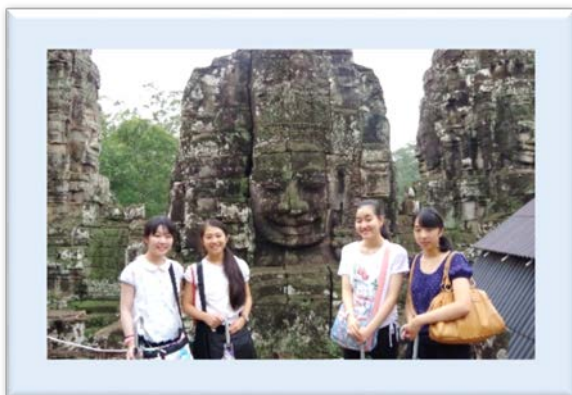


アンコール・トム タ・プローム遺跡群 見学 8/23



午後は、12世紀後半に築かれた3km四方の都城アンコール・トムと、『生きている遺跡』と呼ばれるタ・プローム遺跡群を訪れました。

アンコール・トムでは巨大な遺跡群に圧倒され、当時の人々の生活や近隣の国々との戦いの様子が精細に彫り込まれた美しい壁画に感動しました。

またタ・プロームでは、崩れかかっている遺跡の今後を心配しつつも、遺跡を抱きかかえるように立っている樹齢400年を超えるガジュマルの巨木のパワーと神秘的な光景に感銘を受けました。カンボジアの豊かな歴史を改めて学びました。



[タ・プローム遺跡]



アンコール・ワット プノン・バケン寺院 訪問 8/24

研修最終日は、12世紀前半に建立された東西1.5km・南北1.3kmの世界最大級の石の寺院アンコール・ワットと、プノン・バケン寺院を訪れました。とても天気がよく、『神々の住む場所』といわれるアンコール・ワットの第3回廊まで登り、美しい景色を一望することができました。

世界文化遺産に登録されているアンコール・ワットの迫力と美しさ、高い技術に感動しました。



カンボジアを訪問し、避けては通れない歴史の闇と現在も続く政治不信を目の当たりにしました。そういった社会状況の中においても夢を持って道を切り開こうとしているプノンペン大学の学生たちやカンボジア人スタッフたち、カンボジアの人たちのために力を尽くしている日本人の企業家の方たちと出会いました。

将来について考えている高校生にとっては、日本人とカンボジア人の視点の違いを知ることで視野が広がりました。「日本人である自分、女性である自分ができることは何か」を考えるきっかけとなる研修でした。